

作成日：2025年11月2日

これまでに抗VEGF抗体硝子体内注射の治療を受けた患者さんへ

【過去の試料、診療情報の臨床研究への使用のお願い】

順天堂大学医学部附属順天堂医院 眼科では「滲出型黄斑疾患における抗VEGF抗体硝子体内注射薬を用いた治療に関する研究」という研究を行っております。この研究は、抗VEGF抗体硝子体内注射を受けた患者さんの安全性や効果を調べることを主な目的としています。そのため、過去に抗VEGF抗体硝子体内注射の治療を受けた患者さんのカルテ等の診療情報を使用させていただきます。

1.この研究の対象となる患者さんは、滲出型黄斑疾患（加齢黄斑変性症や近視性網膜症、特発性脈絡膜新生血管、糖尿病網膜症、網膜静脈閉塞症など）の方で、西暦2009年1月1日から西暦2025年12月31日の間に眼科で抗VEGF抗体硝子体内注射治療を受けた方です。

- 利用させていただく試料：矯正視力、眼圧、中心窓脈絡膜厚、中心窓網膜厚、注射回数、眼底所見など
- 利用させていただく診療情報：背景情報（年齢、性別、病歴、診断名、治療歴、生活習慣、喫煙歴、アレルギー、服薬）、身体所見（身長、体重）
- 収集期間：西暦2009年1月1日～西暦2025年12月31日
- 情報の管理責任者：順天堂大学医学部附属順天堂医院（研究責任者：野地悠太）

2.この研究は順天堂大学医学部医学系研究等倫理委員会の承認および研究機関の長の許可を受け、以下の期間で行われます。また、情報の利用を開始する予定日は以下のとおりです。

- 研究実施期間：研究実施許可日～西暦2028年12月31日
- 利用を開始する予定日：研究実施日

3.過去の診療情報を使用する研究であり、新たな検査や費用が生じることはなく、また、使用させていただいた患者さんへの謝礼等もありません。

4.患者さんの情報は、個人を特定できる情報とは切り離した上で使用します。また、研究成果を学会や学術雑誌で発表しますが、患者さん個人を特定できる個人情報は含みません。

5.この研究の結果、特許などの知的財産が生じる可能性もございますが、その権利は大学・

研究者に帰属し、あなたには帰属しません。

6. この研究は、眼科の研究費により実施しています。特定の企業からの資金の提供は受けしておりません。研究分担者の中には本研究の使用薬を製造しているノバルティスファーマ株式会社、中外製薬株式会社、千寿製薬株式会社、参天製薬株式会社、バイエル薬品株式会社から講演料を受領している者がいます。ただし、これは正当な業務報酬であり、これらの企業は研究の実施、解析、報告に関わることは無く、解析に関しては当該企業と個人的利害関係の無い者が行うため、研究の客観性は担保されています。

7. 本研究は以下の体制で実施します。（この研究は当院のみで行う自主研究です）
順天堂大学医学部附属順天堂医院（研究責任者：眼科 野地悠太）

この研究は「人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針」の規定により、研究者等は、患者さんからインフォームド・コンセント（説明と同意）を受けることを必ずしも要しません。そのため同意を取得する代りに対象となる患者さんへ向けホームページで情報を公開しております。

この研究の対象となる患者さんで、ご自身の情報は利用しないでほしい等のご要望や、研究に関するご質問がございましたら、大変お手数ですが【お問い合わせ先】までご連絡ください。なお、情報の利用についてご了承いただけない場合でも、今後の治療などに影響することはございません。

【お問い合わせ先】

順天堂大学医学部附属順天堂医院

03-3813-3111

担当者の所属・氏名 眼科 野地悠太